

文法を楽しく!!

「取り立て助詞」

と た じょ し

通信で習った項目: 「は」と「が」、他動詞・自動詞、受身、やりもらい、～ている、～である、～てくる、～ていく、～ために、～ように、～たら、～と、～で、～なくて/ないで、現象描写・判断・働きかけ
 Grammar studied in the past
 に対して・について、によって、ばかり、取り立て助詞

先日、私が教室に入っていったとき、ある学生が言いました。

「先生、今日はきれいですね。」

その日私は新しい洋服を着ていました。学生はそれを見て、そう言ったのでしょうか。でも、そのとき私は、とても複雑な気持ちになりました。

「今日はきれいだ。…では、いつもはきれいだじゃないのから?」

その学生は「先生が今日きれいだ」ということを伝えたかっただけです。決して、いつもと比べて「今日だけ」きれいだと言おうとしたのではないようです。なのに、なぜ日本語母語話者は「今日はきれいだ」と聞いて、「今日以外はそうではない」というように感じるのでしょうか。

これは「今日は」の「は」のせいなのです。「は」は取り立て助詞(とりたて助詞とも言う)と言って、話す人の「そのものを特に取り上げる」という気持ちを表します。取り立て助詞には、聞き手に何かしらほかのことを連想させる、暗にほかのことをほのめかす働きがあります。「は」「も」また、前回勉強した「ばかり」も取り立て助詞です。

取り立て助詞を使うと、基本的な意味のほかに、程度の差はありますが、何かと比べた(対比的な)意味合いが存在します。

では、ここで問題です。次の問題は、まず会話や文があつて、そのあとの*には、その会話や文で本当に言いたいことが示されています。()の中に適当なことばを入れてください。

答えを考える前に、まず、1～11の会話や文はどういう状況の中で、また、会話の場合、誰と誰の会話かも考えてくださいね。

【問題】

- 子: わー、今日はすきやきだ。
母: そうよ、でも、肉ばかり食べないでね。
* 「() だけでなく、() も食べてほしい」という母親の気持ちが込められている。

2. 店員: いらっしゃいませ。どういったものをお求めですか。

客: いえ、ちょっと見せてもらっているだけです。

* 「今日は何も () ということ」を店員に伝えている。

3. A: 昼休み、ちょっと出られる。

B: ごめん、昼休みは30分しかないんだよ。

* 「昼休みの時間が () から () 忙しい」ということを言いたい。

4. 〈電話で〉

A: はいはい、今どこですか。

B: まだ駅なんです。11時にはそちらに着けると思いますが。

* 電話の相手は、「遅れそうだが、() 11時に着くことができる」と言っている。

5. 働いて少し貯金したが、20万円では頭金にもならない。

* 20万円はとても () て、家/車を買う足にはならないと言っている。

6. A: 君が知っているんだろ。

B: 知らないわよ。あなたこそ白状しなさいよ。

* 相手を指定して、「() じゃなくて、() だ」ということを強く言っている。

7. 妻: お父さん、早く起きてくださいよ。

夫: えー、日曜日くらい、ゆっくり寝させてくれよ。

* 「せめて」の気持ちが含まれ、「() は朝早く起きているんだから、せめて () は…」という意味合いが込められている。

8. A: 会社の経営はどうですか。

B: いつも苦しいですが、今年ほどうまく行かない年はありませんね。

* 今年の会社の経営が () 苦しいという気持ちが込められている。

9. 物忘れがはげしいと聞いていたが、久しぶりに
会った父は、私の名前さえ忘れていた。
* 父親の()が非常に進んでいるという
実感を表している。
10. A: おいしそうですね、この魚。
B: 油で揚げてあるので、骨まで食べられますよ。
* この魚は骨が食べられるほど()
なっているという意味を表している。
11. A: 久しぶり。いっしょにお茶でもどうですか。
B: ああ、いいですね。
* 「いっしょにコーヒーか何かを飲みながら
話ませんか」と()いる。

できましたか。答えはこのレッスンの最後に示して
あります。

では、1~11に出てきた取り立て助詞の役割を、順に
見てみましょう。

1の「ばかり」については前回説明しました。「ばかり」は、
「いつもそうする」「全部そうだ」という意味を表し、
通常は、話し手の否定的、消極的な気持ち（マイナス
評価）を含みます。「ほかのものは食べずに、いつも
（もっぱら）肉を食べること」が母親にとってマイナス
評価になるのですから、「肉ばかり食べる」代わりに
「ほかのもの、例えば、野菜なども食べる」という対比的な
意味合いが出てきます。

2の「だけ」の基本的な意味は、「～についてはそうで
あるが、それ以外の予想・期待される人・もの・ことは
そうではない／なかった」という意味を表します。
したがって、「見せてもらっているだけ」は、店員の
期待には沿えない、買う予定はないことを表します。

3の「しか」は、話し手がそのことに対して、「不十分
である、量・数が少ない」という気持ちを表します。
昼休みが30分しかないということは、「昼休みの時間が
短い、だから、昼休みには外へ出られない」ことを示唆
します。また、それほどに忙しいということも含まれて
いると思われます。

「は」「も」は広い意味用法を持っていますが、4では
11時半や12時とは違って「遅くとも11時に着く」という
気持ちを「は」で表しています。5では述語に「ならない」を
伴って、強い全面否定を表しています。「も」のない
「頭金にならない」は、単に事実を述べているだけですが、
「頭金にもならない」となると、聞き手は20万円は全く
役に立たない、それほどの少額であると感じてしまいます。

6の「こそ」は、その人・もの・ことを取り上げて、

「ほかでもなく、これなのだ」と強く指し示す働きを
持っています。「あなたこそ」と言って、B本人ではないと
強く否定しています。

「くらい（「ぐらい」とも言う）」と「ほど」は程度を
表します。

7の「くらい」は、その事柄（ここでは「日曜日」）を限定して
「少なくとも～は（したい）」「せめて～は（してほしい）」
という意味になります。つまり「普段はそうじゃないんだから、
日曜日は…」という対比が入ります。8の「ほど」は、
「～ほど～名詞+はない」という表現で「それ以上のものは
ない」「本当に～だ」という意味を表します。

9、10の「さえ」と「まで」は、普通はめったに結び
つかない極端な例を出して「それほどに程度が大きい」
「事態が尋常ではない」ということを表します。「さえ」が
その前に来る名詞に焦点を当てて、「普通ならそうでは
ない人・もの・ことが、そうする／そうである」ほどに
程度が大きいと主張するのに対し、「まで」はあとに来る
述語（動詞・形容詞など）に焦点が当たり、「普通では
考えられない範囲にまで事態が及んでいる、そこまで
行っている」、それほどに程度が大きいということを表
します。

9では、普通なら「息子の名前」を忘れるはずがない
のに、それを忘れていて、それほどに父親の病気が
進んでいることを、一方、10では、「食べられる」という
ことを強調し、「身や皮はもちろん骨も食べられる」、
したがって、それほどにこの魚は柔らかくなっているとい
うことを言っています。

11の「でも」はお茶を例に出していますが、コーヒー
でも紅茶、ジュースでもよく、話し手の言いたいことは、
いっしょに話ませんかと誘っていることです。

【問題の答】

- 1-肉、ほかの物（野菜など） 2-買わない 3-短い、
出られない 4-遅くとも 5-少なく 6-私、あなた
7-普段（他の日・いつも）、日曜日 8-非常に（とても）
9-病気（認知症） 10-柔らかく 11-誘って

参考文献

市川保子(2007)『中級日本語文法と教え方のポイント』
いちかわやすこ ちゅうきゅう にほんご ぶんぽう おし かた
スリーエーネットワーク

このコーナーの担当者：市川保子（日本語国際センター客員講師）

このコーナーについてご感想や質問があれば送ってください。「ヤスコの日本語ハウス」という個人のホームページを開いています。

英語の翻訳も付いていますので、ぜひ活用してください。ホームページのアドレスは、<http://homepage3.nifty.com/i-yasu/index.htm>です。